



# 令和4年8月3日からの大雨による 被害概要(速報)



令和4年10月21日  
青森県県土整備部

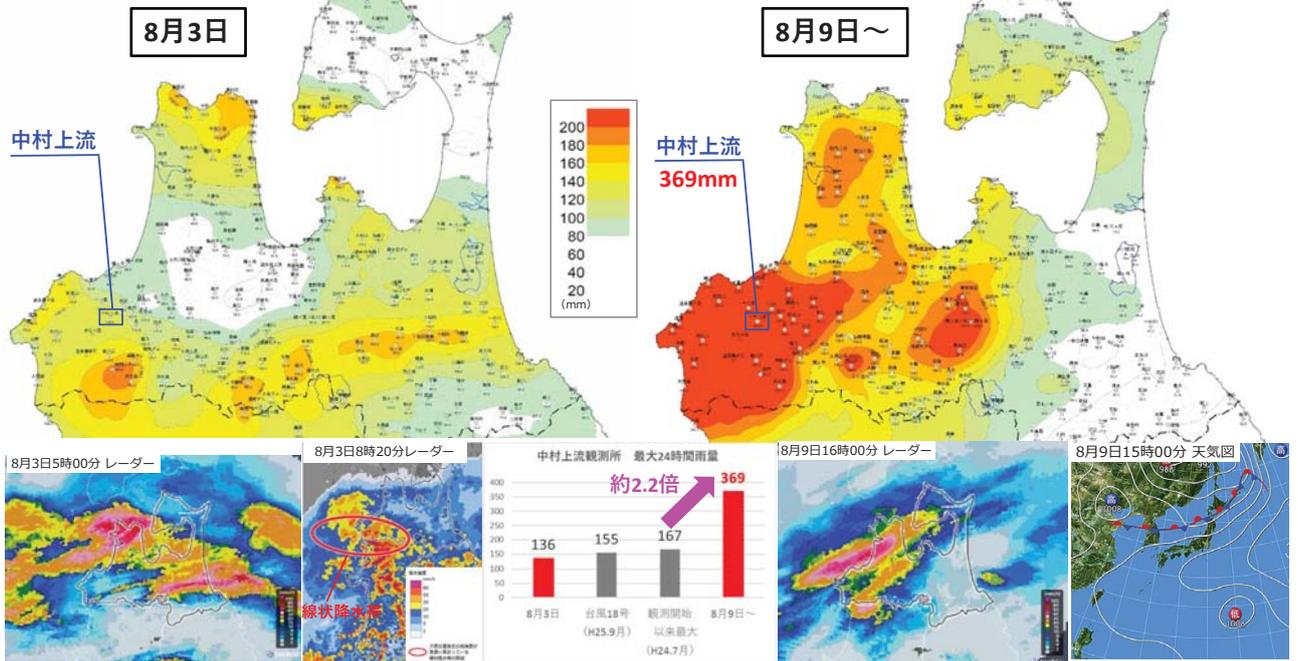
Ver5.0

## 令和4年8月3日からの大雨 気象状況

- 8月3日前線の影響で県内全域で豪雨となった。
- 県内で初めて線状降水帯が津軽地方で確認され、深浦町及び鱒ヶ沢町で記録的短時間大雨情報が発表された。
- 県内33箇所の観測地点で、最大24時間雨量150mm以上を観測した。

- 8月9日から前線の影響で主に中南、西北、鱒ヶ沢地域で豪雨となった。
- 9日には深浦町で記録的短時間大雨情報が2回発表された。  
【①7:16(時間雨量100mm) ②14:17(時間雨量90mm)】
- 中村上流観測所では最大24時間雨量が369mmに達し、これは2001年の観測開始以来、最大。

### 最大24時間雨量線図



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

# 被害概要

## ○道路関係

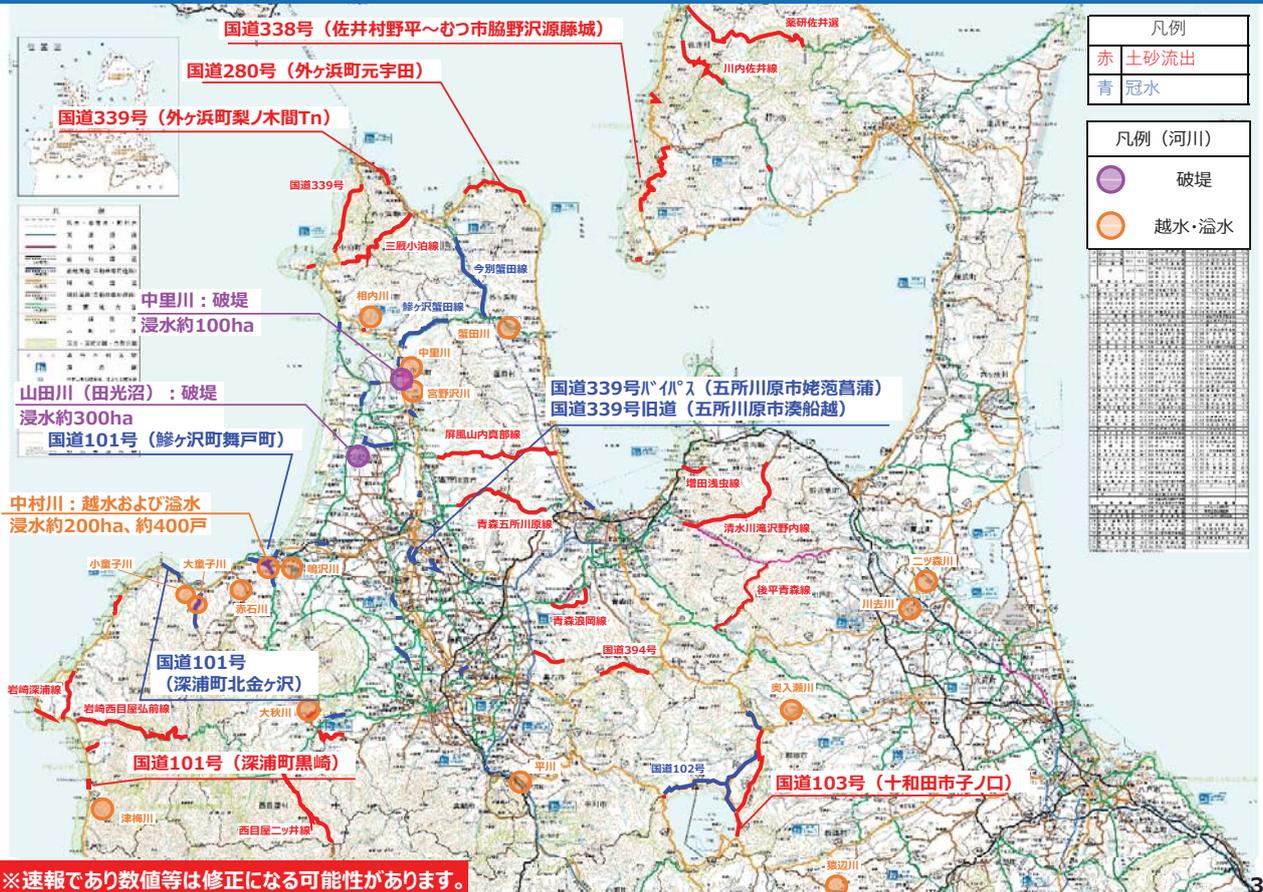
	通行止全箇所	8/8の通行止箇所	10/21の通行止箇所
8月3日からの大雨	40箇所	8箇所	
8月9日からの大雨	67箇所	(67箇所に8箇所を含む)	9箇所

## ○河川関係

河川名	浸水家屋数(戸)	浸水面積(ha)	対応状況
<b>8月3日からの大雨 (7河川)</b>			
蟹田川(外ヶ浜町)	6	30	
奥入瀬川(十和田市)	—	96	
ニッ森川(七戸町)	—	6.3	
川去川(七戸町)	—	8.2	
平川(大鰐町)	—	10.7	
相内川(五所川原市)	—	0.2	
津梅川(深浦町)	—	1.4	
<b>8月9日からの大雨 (12河川)</b>			
中村川(鯉ヶ沢町)	445	200	応急作業済
大童子川(深浦町)	—	0.8	
小童子川(深浦町)	—	0.1	
鳴沢川(鯉ヶ沢町)	—	0.8	
赤石川(鯉ヶ沢町)	—	0.4	
猿辺川(三戸町)	—	0.6	応急作業済
中里川(中泊町)	—	100	応急作業済
山田川(つがる市)	—	300	応急作業済
大秋川(西目屋村)	—	1	
相内川(五所川原市)	—	2.1	
尾別川(中泊町)	(要配慮者施設 2棟)	13.5	
宮野沢川(中泊町)	—	11.2	

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

# 被害概要



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

# 復旧概要



## 通行止め道路の復旧見込み

○8月の大雨災害による被災のため、10月21日現在、県が管理する道路のうち9路線が通行止めとなっている。

### 8月の大雨による通行規制(全面通行規制)情報一覧

令和4年10月21日時点

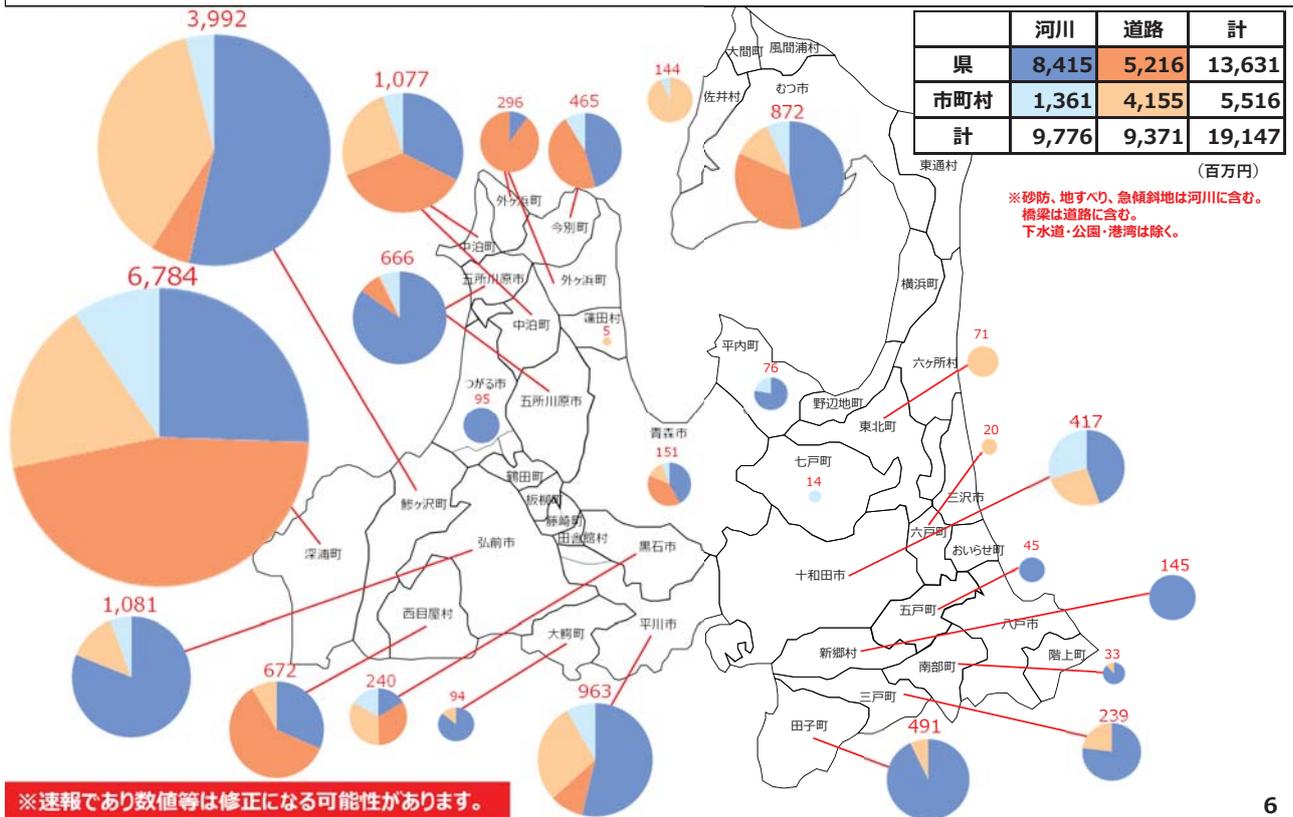
番号	路線名	規制区間		解除予定 (片側交互による解除含む)
		起点 終点	延長 (km)	
1	(一)岩崎深浦線	深浦町中山峠 深浦町深浦	5.8	9月30日解除
2	(一)三厩小泊線	外ヶ浜町三厩増川山 中泊町小泊	10.7	R5内
3	(主)岩崎西目屋弘前線	西目屋村津軽峠 西目屋村暗門	8.7	10月8日解除 (大型車通行不可)
4	(一)西目屋二ツ井線	西目屋村砂子瀬 秋田県境	14.8	R6以降
5	(一)三厩小泊線	中泊町中小泊山国有林 中泊町南小泊山国有林	8.5	R5内
6	(主)岩崎西目屋弘前線	深浦町西岩崎山(岩崎ゲート) 西目屋村津軽峠	40.6	R6以降
7	(一)相馬常盤野線	西目屋村白沢 弘前市百沢	4.7	10月4日解除
8	(一)相馬常盤野線	弘前市沢田 西目屋村田代	6.2	R5内
9	(一)十二湖公園線	深浦町松神 同上	2.7	9月20日解除
10	(主)青森五所川原線	青森市天田内 五所川原市飯詰	16.6	R5以降
11	国道339号	中泊町中小泊山国有林 外ヶ浜町三厩龍浜	11.0	9月21日解除
12	(一)権現崎線	中泊町大字小泊字長坂 同上	0.6	R5以降
13	国道338号	むつ市脇野沢源藤城 佐井村野平	18.2	11月中旬
14	(一)薬研佐井線	むつ市大畑町赤滝山 佐井村古佐井川目	20.8	11月初旬

### 規制中 9区間

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 公共土木施設被害額（市町村別：10月14日とりまとめ）

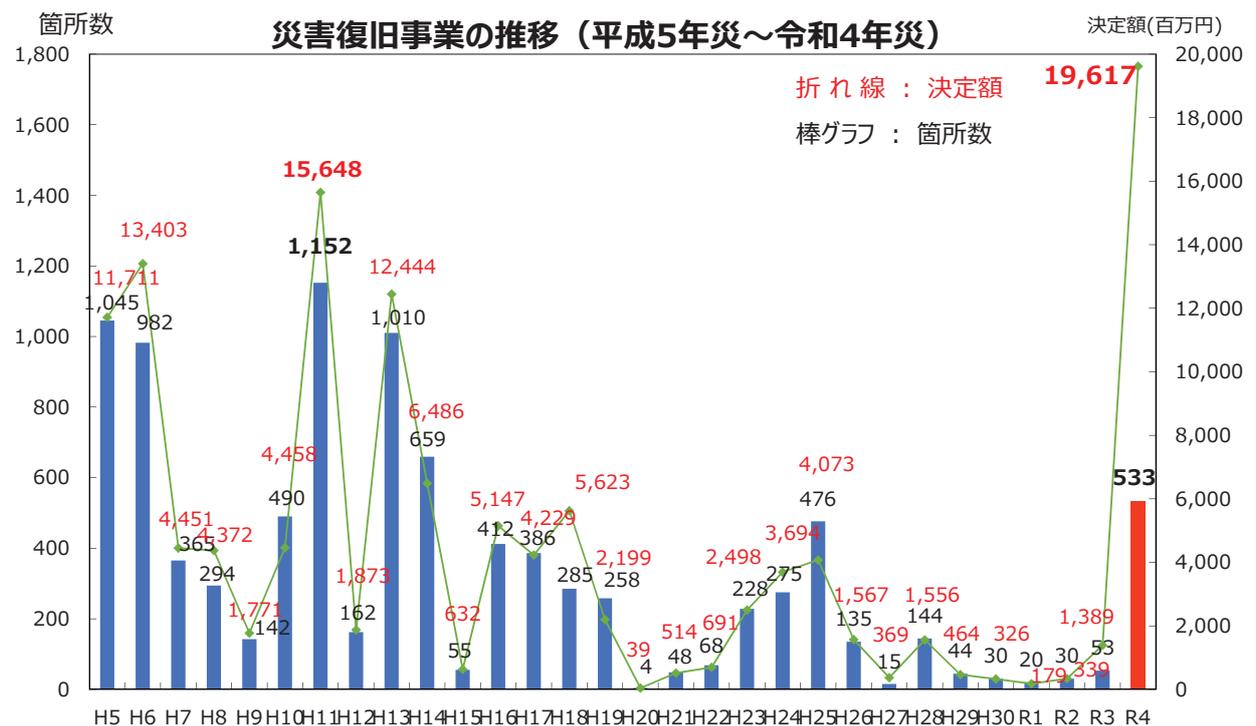
- 8月3日からの大雨では、県内の広範囲（26市町村）で河川・道路等の公共土木施設が被災。
- 特に津軽地方では、深浦町や鱒ヶ沢町などで甚大な被害。



6

## 公共土木施設被災状況（10月14日とりまとめ）

- 8月3日からの大雨で、津軽地方を中心に合計533箇所（県310箇所、市町村223箇所）、約196億円（県136億円、市町村60億円）の甚大な被害。
- 直近20年において、総被害箇所数及び総被害額は過去最大。



7

## 被害状況写真（道路災害）



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

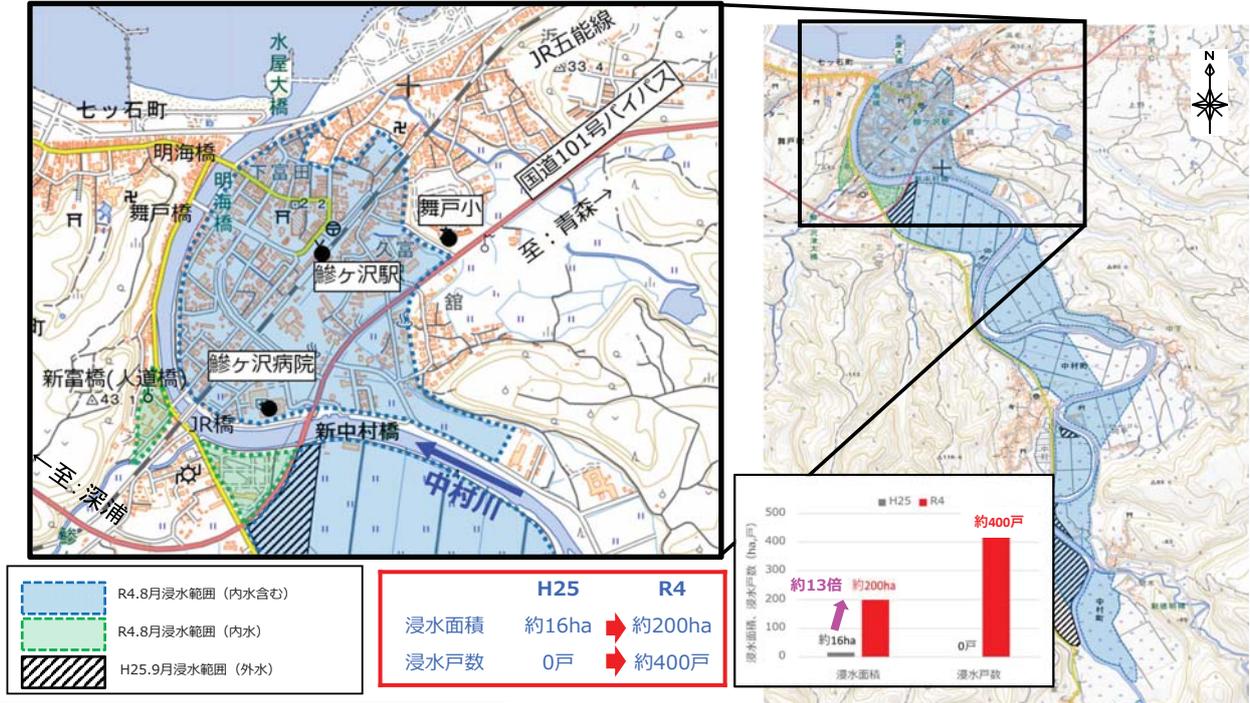
## 被害状況写真（河川災害）



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

# 中村川被災状況及び応急対応状況

- 8月9日、中村川水系中村川で洪水が発生し、市街地約40ha、約400戸が浸水。
- 平成25年9月の既往最高水位を約50cm超える最高水位を観測。
- 被災後直ちに地元建設業者が復旧作業に着手、護岸崩壊部に大型土のう設置。
- 鰐ヶ沢浄化センターについては、国交省ポンプ車2台による内水排水作業により、浸水解消。



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

※国土地理院：地理院地図に浸水範囲等を加筆

# 中村川 被害等の写真



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 中里川破堤による浸水状況及び応急対応状況

- 8月10日、岩木川水系中里川で延長約30m破堤、約100haの農地が浸水。
- 被災後直ちに地元建設業者が応急仮締切に着手し、8月23日に作業完了。
- 国交省ポンプ車2台及び農水省ポンプ4台による排水作業により浸水解消。

① 浸水状況 8月10日



② 浸水解消 8月15日



③ 応急仮締切 完了 8月23日



※国土地理院の地理院地図に浸水範囲等を加筆



④ ポンプ排水車による排水作業状況 8月12日撮影

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 山田川(田光沼)破堤等による浸水状況及び応急対応状況

- 8月10日、田光沼西側堤防の一部(約50m)が破堤し浸水発生。また田光沼東側は内水により浸水発生。
- 県農林水産部と県土整備部は、早期効果発現のため「浸水解消プロジェクトチーム」を組織。
- 農林水産部側での排水作業及び県土整備部の応急仮締切(8月25日完了)により浸水解消。

### 農林水産部・県土整備部 浸水解消プロジェクトチーム

最大限の効果を発揮するため連携対応

農林水産部：排水機場の運転，農水省ポンプによる排水 / 県土整備部：破堤箇所の締切

① 破堤状況 8/10



② 浸水状況 8/15



③ 浸水解消 8/22



応急仮締切及び土地改良区等による排水作業により浸水解消



最大浸水範囲約400~500ha (現在浸水解消)

※国土地理院の地理院地図に浸水範囲等を加筆



④ 農水省ポンプによる排水(農林) 8/14



⑤ 応急仮締切 完了(県土) 8/25

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 深浦町道松原1号線(追良瀬川)の被災状況及び応急対応状況

- 8月9日、町道松原1号線松原地区において、大雨により道路(護岸)が大規模に崩落し、松原地区が孤立。
- 8月12日に歩行空間と駐車場を確保して孤立は解消したが、車は通行できない状況が続いている。
- 8月21日の知事現場調査において、町長から早期復旧に関する要請を受け、県が22日から復旧に着手。
- 応急復旧により9月1日午前6時から車両通行開始(片側交互)。



被災状況 8/10



応急復旧作業状況 9/4



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 国道339号梨ノ木間1号トンネル付近通行止め解除の取り組み

- 8月3日、国道339号の梨ノ木間1号トンネル付近の延長約0.2kmの通行止めが発生。
- 被災後直ちに地元建設業者が復旧作業に着手、2日後に道路啓開、5日後に安全対策を迅速に完了。
- その後の大雨により再度の安全確認を行い、8月12日午前9時より片側交互通行を開始。



10~12日の大雨後の安全を確認し、片側交互通行を開始(8/12の9時)



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

8/6大型土のう設置完了  
8/8法面保護シート設置完了

## 国道282号平川市西碓ヶ関山国有林地内の通行止め解除の取り組み

- 8月3日、国道282号平川市西碓ヶ関山国有林において、豪雨による道路路肩部及び法面の決壊が発生し、同日午前11時30分から全面通行止め。
- 被災当日の8月3日から道路路肩から法面上部への保護シート設置、土嚢による仮設排水処理を実施。
- 被災翌日の8月4日午前9時より全面通行止めを解除し、片側交互通行による交通開放。



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

16

## 国道101号の通行止め解除に向けた取り組み

- 8月9日、国道101号の5箇所でも全面通行止めが発生。8月12日17時までに3箇所での交通開放を完了。
- 北金ヶ沢の冠水については仮橋の設置によって、13日15時に片側交互通行に移行。
- 黒崎地内の町道活用で、普通車は、秋田県への通過は可能であるが、大型車の通行が分断された状態となった。
- 黒崎地区の土砂撤去作業により対応完了、25日16時に片側交互通行で交通開放。



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

17

## 国道101号深浦町黒崎地区の通行止め解除に向けた取り組み

- 8月9日、国道101号深浦町黒崎地区において土砂崩落に伴う全面通行止めが発生。
- 町道活用により普通車の通過は可能であるが、大型車の通行が分断された状態となった。
- 8月11日には被害状況調査を行い、8月15日からの土砂撤去により応急復旧完了、25日16時に片側交互通行で交通開放。



## 国道339号五所川原市姥苧菖蒲地区の通行止め解除の取り組み

- 8月9日から大雨により、国道339号の五所川原市姥苧菖蒲地区(バイパス)及び同市湊船越地区(旧道)において、10日から道路冠水による通行止めが発生。
- 被災当日の8月10日からポンプ車による排水作業を開始し、3日後には冠水状態が解消。
- 8月13日午前7時より旧道の通行止めを解除、同日午前9時よりバイパスの通行止めを解除。



## 国道280号外ヶ浜町平館元宇田～今別町山崎地区の通行止め解除に向けた取り組み

- 8月12日未明の大雨により、国道280号外ヶ浜町平館元宇田と今別町山崎の2箇所で大規模な土砂崩落が発生し、一時、孤立集落が発生した。
- 8月12日 山崎地区対応完了→孤立解消 L = 3.6km 全面通行止。
- 孤立は解消したが、両地区の行き来には、鰯ヶ沢蟹田線や今別蟹田線などの広域な迂回が必要となった。
- 元宇田地区の通行止解除のために土砂や流木の撤去作業を実施し応急復旧完了、8月30日午前9時に交通開放。



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 国道280号外ヶ浜町平館元宇田地区の通行止め解除に向けた取組み

- 8月12日未明の大雨により、国道280号外ヶ浜町平館元宇田地区で土砂崩落が発生した。
- 被災直後の8月12日から土砂・流木の撤去作業を開始。
- 撤去作業を早急に進めたが、8月18日からの降雨により再度、土砂崩落が発生した。
- 土砂・流木の撤去及び湧水の切り回し作業を実施し応急復旧完了、8月30日午前9時から交通開放。



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 国道103号十和田市子ノ口地区の通行止め解除の取り組み

- 8月12日から13日の大雨により国道103号の十和田市子ノ口地区において全面通行止めが発生。
- 8月15日から土砂撤去作業開始。15日から16日の大雨により土砂流出による再度災害発生。
- 大型土のう設置による安全対策を実施。8月17日14時より片側交互通行による交通確保。

①被災状況



②被災状況



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

## 県代行事業 深浦町道 長慶平1号線

- 国道101号から深浦町長慶平地区へ向かう町道長慶平1号線にて、道路損壊、倒木等による全面通行止めが発生。道路損壊が激しいため、現在も啓開の見通しが立っていない。
- 8月18日の深浦町長からの要望を受け、8月21日に正式に県の権限代行による災害復旧を行うことを決定。

被災状況：8月12日撮影



被災状況：8月12日撮影



被災状況：8月12日撮影



- 長慶平地区
- 世帯数 … 19世帯 35名
  - 7477イ … 停電→電源車対応(8月16日~10月12日、58日間)  
⇒10月12日通常供給切替済
  - 迂回路 … 町道松原1号線→林道長慶平松原線

被災状況：8月12日撮影



被災状況：8月12日撮影



被災状況：8月12日撮影



## 県代行事業 鱒ヶ沢町道 山子線 開晴橋

- 鱒ヶ沢町道山子線の開晴橋において、一部橋脚が沈下したため橋梁の全面通行止めを実施。
- P3橋脚が約60cm沈下している他、支承・伸縮継手等の損傷が確認された。
- 詳細な調査を実施し、沈下原因を特定した後、復旧工法を選定する必要がある。
- 8月18日の鱒ヶ沢町長からの要望を受け、8月21日に正式に県の権限代行による災害復旧を行うことを決定。

【橋梁諸元】  
 橋長：93.4m  
 幅員：車道4.0m + 路肩0.5m  
 径間数：4  
 上部工形式：単純鋼合成H桁橋（4連）  
 下部工形式：A1,A2 逆T式、P1～P3 壁式橋脚

被災状況：8月16日撮影（側面①）



被災状況：8月16日撮影（側面②）



鱒ヶ沢町南金沢地内



開晴橋

被災状況：8月16日撮影（橋梁縦断方向）



被災状況：8月16日撮影（全景）



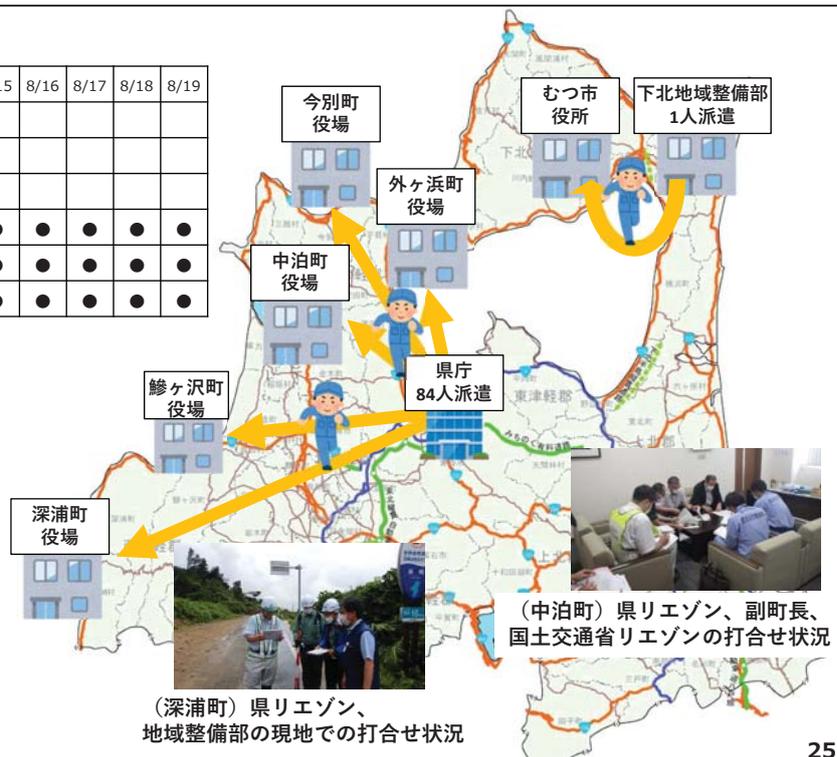
沈下した橋脚

## 県内被災市町村への人員支援状況

- 災害対応は、全庁あけて人員を集中して対応することが必要。
- 県内被災市町村における災害対応体制を強化するため、甚大な被害が想定される市町村に対し、県庁から被災市町村へ、延べ85人の職員を派遣。

	8/3	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19
外ヶ浜町	●											
今別町	●											
むつ市	●											
中泊町		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
深浦町		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鱒ヶ沢町		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

(市町村へのリエゾン)	8/3	8/9 ~19	合計
外ヶ浜町	3		3
今別町	3		3
むつ市	1		1
中泊町		25	25
深浦町		28	28
鱒ヶ沢町		25	25
合計	7	78	85



## 青森県、国土交通省から県内被災市町村に対する支援

- 青森県から、被災市町村（むつ市、外ヶ浜町、今別町、深浦町、鱒ヶ沢町、中泊町）における支援ニーズの把握や連絡調整のため、延べ85人のリエゾン（情報連絡員）を派遣。
- 国土交通省からは、青森県をはじめ、深浦町、鱒ヶ沢町、中泊町における支援ニーズの把握や連絡調整のため、青森県には8月3日、4日、9日～25日の間に延べ30人、深浦町、鱒ヶ沢町、中泊町には8月13日～31日の間に延べ90人のリエゾン（情報連絡員）が派遣された。
- 深浦町、鱒ヶ沢町、中泊町は、国土交通省に対して、TEC-FORCE（緊急災害対策援助隊）の派遣を要請し、8月13日～31日の間、延べ276人が派遣された。



（鱒ヶ沢町）  
災害対策本部会議への出席



（中泊町）  
災害対策本部会議への出席



（中泊町）県リエゾン、町担当者、  
国土交通省（TEC-FORCE）の打合せ状況



（深浦町）県リエゾン、町担当者、  
国土交通省（TEC-FORCE）の打合せ状況



（鱒ヶ沢町）県リエゾン、町担当者、  
国土交通省（TEC-FORCE）の打合せ状況



（鱒ヶ沢町）県リエゾン、町担当者、  
国土交通省（TEC-FORCE）の打合せ状況

※数値等は速報値であり、今後変わる場合があります

26

## 東北地方整備局TEC-FORCE活動状況



（中泊町）  
UAV映像による被災状況調査（袴腰山内）



（鱒ヶ沢町）  
被災状況調査（町道赤石溪流線）



（深浦町）  
被災状況の調査結果報告



（鱒ヶ沢町）  
被災状況の調査結果報告



（中泊町）  
被災状況の調査結果報告

## 被災者の住まい等に関する支援

- 被災市町村に対し、建築住宅課の支援業務等について周知を実施
- 中泊町の被災者に対し、五所川原市内の県営住宅等を3戸提供
- 鯉ヶ沢町からの要請により、住宅の応急修理に係る相談業務への人的支援
  - ・ 建築職2名派遣(9/12～10/14・22日間)
- 水害後の住宅の応急対応に関する情報発信や相談窓口の開設等を支援



### ◆被災市町村に対し、建築住宅課の支援業務等について周知を実施 (R4.8.4以降随時実施)

- 被災者の住まいに関すること
  - ・ 市町村公営住宅等の目的外使用等に関する制度周知、相談対応 (五所川原市2戸、平川市1戸、外ヶ浜町2戸、鯉ヶ沢町5戸、中泊町3戸の活用を支援)
  - ・ 提供可能な県営住宅等の情報提供 (中泊町の被災者へ五所川原市内の県営住宅等3戸を提供)
  - ・ 提供可能な近隣市町村の公営住宅等の情報提供 (R4.8.15中泊町、R4.8.23外ヶ浜町へ提供)
  - ・ 応急仮設住宅の提供に関する相談対応 (R4.8.16鯉ヶ沢町・中泊町、R4.8.22外ヶ浜町) → R4.10.1～外ヶ浜町1戸提供
- 住民の安全確保に関すること
  - ・ 市町村が実施する被災宅地危険度判定の制度周知
- 住宅金融支援に関すること
  - ・ 被災者から住宅再建及び住宅ローン返済に関する相談があった場合、(独)住宅金融支援機構からの情報を提供

### ◆公営住宅等の提供状況 (R4.10.21時点・退去済含む) 住家の被害状況 (R4.9.22第27報時点)

市町村名	全壊	半壊	準半壊	一部損壊	公営住宅等の提供		賃貸型応急仮設
					県営	市町村営	
弘前市			8	29			
五所川原市		16	2	51		2	
十和田市		2		1			
つがる市		1		1			
平川市		3		5		1	
今別町			3	11			
外ヶ浜町	6	22		12		2	1
鯉ヶ沢町		297		64		5	
深浦町	3	19		29			
鶴田町		8		38			
中泊町		55		44	(※1) 3	(※2) 3	
おいらせ町				1			
計	9	423	13	286	3	13	1

※1 3戸とも、五所川原市内の県営住宅等 新宮団地へ入居  
 ※2 うち1戸は、町が町営住宅とは別に整備した若者定住住宅へ入居

28

## 被災者の住まい等に関する支援

### ◆鯉ヶ沢町からの要請により、住宅の応急修理に係る相談業務への人的支援

- ・ 建築職2名体制にて派遣
- ・ 派遣期間 R4.9.12～10.14
- ・ 延べ22日間・43人日
- ・ 相談対応179件(派遣期間中)
- ・ 申請57件(派遣期間中)

(参考) R4.10.18時点の状況  
 申請76件 うち修理中54件・完了14件



住宅の応急修理 相談対応状況 (鯉ヶ沢町役場内)

### ◆水害後の住宅の応急対応に関する情報発信や相談窓口の開設等を支援 (R4.8.4以降随時実施)

- 情報発信に関すること
  - ・ 賃貸型応急住宅として提供可能な賃貸住宅の情報提供を協定締結団体(不動産関係団体2団体)へ依頼 (R4.8.4以降随時実施)
  - ・ 水害後の住宅の応急対応のパンフレット等を、全市町村や建築関係団体等へ情報発信、県土整備部Facebookへの掲載 (R4.8.16)
- 相談体制の構築支援に関すること (R4.8.23以降随時実施)
  - ・ (一社)青森県建築士会と(一社)青森県建築士事務所協会による「被災者向け電話相談窓口」の開設、電話相談後の「現地相談」実施に関する、関係者間の調整等を支援
  - ・ 開設期間 R4.9.5～R4.9.30
  - ・ 電話相談、現地相談ともに「無料」



応急対応パンフレット(岡山県提供)

29

## 関係者現場視察状況

- 8月17日 石井国土交通副大臣 視察
- 8月31日 谷内閣府特命担当大臣（防災） 視察
- 8月7日 青山副知事 視察
- 8月21日 知事 視察



※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

30

## 復旧・復興に向けた国への要望活動

- 9月6日に県及び県議会から国土交通大臣等に対し、復旧・復興に向けて国の支援を求める要望書を提出。
- 齋藤国土交通大臣からは、「予算面、技術面において全面的に支援する」との回答があった。

齊藤国土交通大臣への要望書手交



岡村水管理・国土保全局長への要望書手交



丹羽道路局長への要望書手交



国土交通大臣  
齋藤 鉄夫 殿

令和4年8月3日からの  
大雨による災害に係る  
要望書



青森県  
青森県議会

### 要望項目

1. 中村川水系の流域治水を推進するため、現在、主要施策として中村川で進めている河川改修事業の加速化に向けた国の支援
2. 今回災害を受けた中村川において、流域治水を踏まえ、再度災害防止を図るために必要となる新たな治水計画策定に向けた国の支援
3. 被災箇所の早期復旧に向けた災害復旧予算の確保と配分
4. 国道101号及び国道280号の強靱化に向けたバイパス整備や防災機能強化への支援と重要物流道路の指定
5. 地域住民の生活の足であり、観光面でも重要な役割を担っているJR五能線及びJR津軽線の早期運行再開に向けた復旧支援
6. 今般の大雨災害を踏まえつつ、今後の大規模災害に備え、未だ道半ばである国土強靱化に資する防災・減災対策を一層推進するための「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算の大幅な増額及び被災地等における防災・減災や流域治水に資する取組への重点的な予算配分

31

# 参考資料

[27.0k~管理上流端]

## 岩木川における内水・被害状況

[8月15日10:00時点]



出展：令和4年8月9日からの大雨による出水（前線）の概要《第3報 8月30日 17時時点》（東北地方整備局 河川部）

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

32

# 参考資料

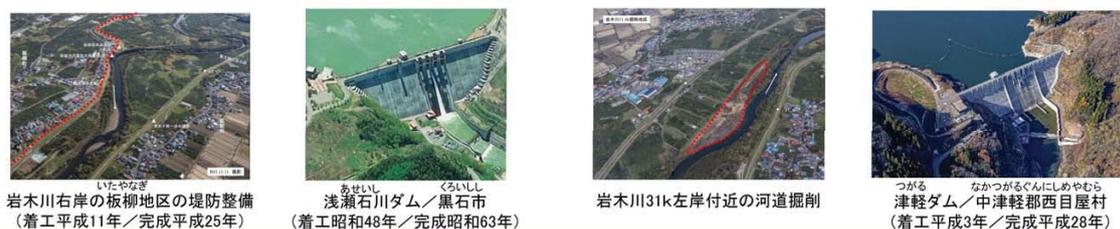
## 昭和52年8月洪水以降の河川整備による効果

- 岩木川では、戦後最大の被害となった昭和52年8月洪水以降、大洪水に対応するため、浅瀬石川ダム・津軽ダムの建設、堤防整備、河道掘削等の河川整備を実施。
- 今回の出水では、岩木川中流域（幡龍橋水位観測所、板柳町）で平成25年9月洪水（既往最高水位）と同程度の水位を観測した一方で、浸水面積は大幅に減少し、整備効果が現れたものと考えられる。

### 既往洪水における浸水範囲の比較



### 昭和52年8月洪水以降の主な河川整備（ダム建設・堤防整備・河道掘削）



出展：令和4年8月9日からの大雨による出水（前線）の概要《第3報 8月30日 17時時点》（東北地方整備局 河川部）

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

33

# 参考資料

## ダムの洪水調節や河川改修による治水効果(岩木川水系岩木川)

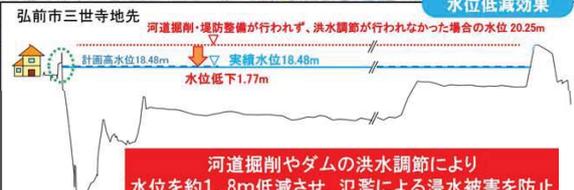
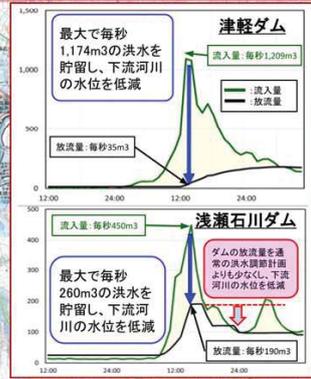
速報値

### 【位置図】



- 今回の出水と同規模であるH25.9出水においては、無堤部であった「三世寺地区」等において、床上・床下浸水等の被害が発生。
- その後の河道掘削や、浅瀬石川ダムと平成28年度に完成した津軽ダムの防災操作により河川水位を低減させるとともに、三世寺地区等の堤防を平成28年度までに整備したことにより、今回は外水氾濫を回避。
- 仮に、これらの河川整備が実施されず、洪水調節も行われなければ、鶴田町、板柳町、弘前市市街地への氾濫により、約5,800戸(浸水面積4,830ha)の浸水被害が発生していたと推定。

### 津軽ダム・浅瀬石川ダムによる洪水調節



出展：令和4年8月9日からの大雨による出水（前線）の概要《第3報 8月30日 17時時点》（東北地方整備局 河川部）

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。

# 参考資料

## 岩木川水系のダムの効果（令和4年8月9日 前線に伴う洪水）

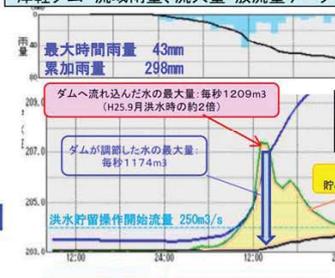
【岩木川水系の国管理ダムでは、特別防災操作を実施する等、下流河川の水位低減に努めました】

- ◆津軽ダム上流域では累加雨量が298mmに達する大雨になり、津軽ダムへの最大流入量が毎秒1,209m³となり、管理開始（H29）以降第1位で、最高水位を記録した平成25年9月洪水時の約2倍の最大流入量を記録しました。
- ◆浅瀬石川ダムでは、特別防災操作を実施して、下流河川の水位低減のため、ダム放流量を絞り込みました。

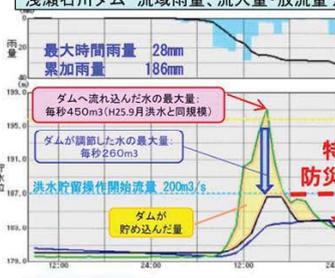
### 位置図



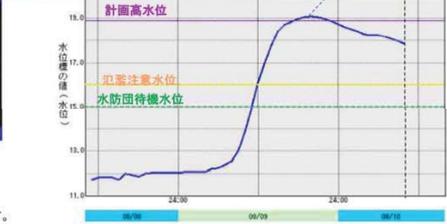
### 津軽ダム 流域雨量、流入量・放流量データ



### 浅瀬石川ダム 流域雨量、流入量・放流量データ



二つのダム下流河川が合流した後の水位データ(岩木川・三世寺地点)



二つのダムで水を貯め込んだ分、河川水位が低下しました。

(※)低減効果は現在精査中

今回の豪雨はH25洪水に近いものですが、ダム操作の結果、三世寺地点では過去最高水位(H25年)19.43mを下回りました。

特別防災操作とは、下流河川の水位上昇軽減を図るため、今後の降雨予測を確認しながら、ダムに貯め込む水の量を増やし、ダムから流れる水の量を減少させる操作。



▲洪水を貯めた後の津軽ダム (CCTV)



▲平常時の津軽ダム (CCTV)

※記載された数値は速報値であり、今後の詳細検討により変更される場合があります。

出展：令和4年8月9日からの大雨による出水（前線）の概要《第3報 8月30日 17時時点》（東北地方整備局 河川部）

※速報であり数値等は修正になる可能性があります。